



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



教区経済問題評議会

九百万円を超える緊急募金に感謝

教区経済問題評議会が五月十三日(火)に教区本部で開かれ、教区会計の二〇〇七年度の決算と二〇〇八年度の予算を審議した。

に移された緊急募金は予算額を五〇%以上上回る九六九七、六六八円だった。

協力への感謝を表明すべきこと。緊急の文字がはずされても毎年、六百万円台の赤字が生じるため、その解消の手立てを今年度中に考案すること、などが話し合われた。

開局から二十年以上、鹿兒島教区教会の耳となつて、苦しみ悩んでいる人々の声を聞いている「鹿兒島きぼうの電話」の相談員養

鹿兒島きぼうの電話養成講座開講予定

Table with columns: 回 (Session), 月 (Month), 日 (Date), 曜 (Day), 講 師 (Instructor), 科 目 (Topic). Lists 22 sessions from June to December.

成講座が今年も六月二十日(金)から始まる。同講座は、電話で話を聞く相談員になる意思がなくても、人間関係の向

上に役立てたいという二十歳以上の人なら誰でも受講できる。今年も六月十三日(金)に事務局からの説明会があり、その後、金曜日を中心に、教区本部二階会議室で二十二回の講座が開かれることになっている。

新風

信者でない人たちの話の中でよく、教会は入りづらいつか、また教会を随分ご無沙汰している信者さんたちからは教会は敷居が高い、などということ

イエスの弟子の中でリーダー格だったペトロは、イエスの受難と死の予告を聞いた時、わざわざイエスをわきへお連れして「主よとんでもないことです。そんなことがあつてはなりません」(マタイ福音書16章22節)と言つてい

過信、自信喪失、そして確信

したが、イエスの目には過信家と映つたかも知れません。(この場合、過信家とは自分を信じている人のこと) 復活したイエスは受難のとき、鶏がなぐ前に三度イエスのことを知らない、と言つたペトロに「この人たち以上にわたしを愛し

21章17節) 聖霊降臨の後、「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知つていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください」と声を張り上げ、話し始めました。(使徒言行録2章14節)また、ペトロ自身、信者への手紙の中で「神は豊かな憐れみにより、わたしを新たに生まれさせ、汚れず、しぼまない財産を受けつぐものとしてくださった」(ペトロの手紙一、1章3節)と、力づく説教

四月から本村裕之さんに代わり、きぼうの電話運営委員長にザビエル教会の山口弘子さんが就任した。

同認定式は神学の四年課程の一年目を実施され、この日からスタート(黒衣)を着用する。認定を受けた貴島さんは「神学院に入ってからこの二年間、最初は戸惑つたが、神学院の神父さまをはじめ神学生や、多くの信者の方から親切にしてもらいこの日を迎えた。感謝したい。これからもしっかりと司祭職への準備をしていきたい」と抱負を語つた。

「親子丼はどけおっか子どんぶい」これはある食堂で親子丼ぶりを注文した方が、かしわが入っていないのに立腹し詠んだ句。大勢の家族連れで賑わう場で声を荒げて不満を言うのも大人げない。かといつてこのまま黙っているのは悔しい。そこで、割りばしの袋にこの句を書き込みテーパーに残したという▼この話は恩師が教えてくれたもの。いつもこちらの欠点を鋭く見抜き、指導して下さい。ある日は「あなたは「違う」「違う」は思わない」と言わないからダメ」と。相手の意見に不用意に相づちを打つと、特に相手が他人に不利益な話をしていてる場合、その人は次に話すべきは、相づちを打つた人が話したこととして別の人に伝えるのだという。それを聞いて恐ろしくなつたし、思い当たることもあつた▼「親子丼ぶり」の話をユーモアの例えとして語ってくれたこの方。言いたかつたのはユーモアがラテン語にその語源を持ち人間味(元々は体液)を表しているということ▼「許す」ことは難しい、これはカテドラルの主任司祭のミサでの説教。口で許すと云つても、心から許せることは稀だと。確かにそう。特に、一言言わねば気が済まないこの性格、心から許すなんて不可能に近い。ならばせめて文句に「親子丼ぶり」の句のように、ちよつぱり茶目つ氣(人間味)を加えてみるか。

YET

「親子丼はどけおっか子どんぶい」これはある食堂で親子丼ぶりを注文した方が、かしわが入っていないのに立腹し詠んだ句。大勢の家族連れで賑わう場で声を荒げて不満を言うのも大人げない。かといつてこのまま黙っているのは悔しい。そこで、割りばしの袋にこの句を書き込みテーパーに残したという▼この話は恩師が教えてくれたもの。いつもこちらの欠点を鋭く見抜き、指導して下さい。ある日は「あなたは「違う」「違う」は思わない」と言わないからダメ」と。相手の意見に不用意に相づちを打つと、特に相手が他人に不利益な話をしていてる場合、その人は次に話すべきは、相づちを打つた人が話したこととして別の人に伝えるのだという。それを聞いて恐ろしくなつたし、思い当たることもあつた▼「親子丼ぶり」の話をユーモアの例えとして語ってくれたこの方。言いたかつたのはユーモアがラテン語にその語源を持ち人間味(元々は体液)を表しているということ▼「許す」ことは難しい、これはカテドラルの主任司祭のミサでの説教。口で許すと云つても、心から許せることは稀だと。確かにそう。特に、一言言わねば気が済まないこの性格、心から許すなんて不可能に近い。ならばせめて文句に「親子丼ぶり」の句のように、ちよつぱり茶目つ氣(人間味)を加えてみるか。

神の民に

加わるように招かれる

1 ※参加者を温かく迎える
 ※主をお招きするための祈り

※リーダーによる説明 (15分)、今日の講座の流れを説明
 ・分ち合いのルールについて
 三人以上のグループにならないようにする。
 分裂や争い、災害の苦しみや人から受けた傷などを表す写真などをテーブルの上に数枚用意する。ローソク、十字架、テーブルを中心に円形に着席。

「わたし達の間には一致することの難しさがあります。教会の中でさえ、仲良しグループができて、他の人と交わらなくなったり、忙しさから自分の必要性を優先することで、互いに愛し合うという教えと関係のないような生活スタイルになってしまったりします。例えば、こんなことがありました。ある婦人会長はより豊かに信仰を生きたいと願い、社会福祉施設にボランティアに行きませんか?と婦人たちに呼びかけました。しかし、新しい活動に対して、婦人たちは今より忙しくなることを負担に感じたのでしょう。賛成する人は殆どありませんでした。賛成したいけれども、反対する他の婦人からまた

批判、攻撃されることを恐れる善意ある婦人もいました。婦人会長は聖書に「互いに愛し合いなさい」という教えに基づいて、自分たちのできることをしようと聖霊に促されて、提案しただけなのに、最後には地元の出身ではないことから「よそ者が!」とか、「目立ちたがり!」とまで言われる始末です。
 わたし達の間に「分裂」はお互いに心の底から

由は何でしょうか?

② あなたはどのようにしてこの「分裂」「分断」を克服してきましたか?あるいは克服しようとしていないのでしょうか?

※小グループに分かれての分ち合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて10分、全体では30~40分)

※質問は一つずつ、分ち合いと報告をしながら進んでいきます。

③ 教会の実際の姿は理想的な「兄弟姉妹」の姿を表しているわけはありませんか?

北薩地区宣教奉仕者

(信徒使徒職) 養成講座 ⑦

出水教会主任司祭 大松正弘

マルコ三章31節~35節を讀んでみましょう。
 31 イエスの母と兄弟たちが来て外に立ち、人をやってイエスを呼ばせた。

32 大勢の人がイエスの周りに座っていた。「御覧なさい。母上と兄弟姉妹方が外であなたを捜しておられます」と知らされると、33 イエスは「わたしの母、わたしの兄弟とはだれか」と答えて、34 周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。35 神の御心を行う人こそ、わたしの兄弟、姉妹、また母なのだ。」

① あなたは家庭、学校、隣近所、職場、社会などでどのような争いを体験しましたか。わたし達の間にどのような「分裂」「分断」があるでしょうか。その理

がある。「(進行役はゆっくりと三回繰り返す。) どんな意味が込められているのでしょうか?

② わたし達の習慣では普通、兄弟姉妹と言えば、血縁につながっていますが、イエス自身は神の御心を行う人こそがイエスの兄弟姉妹、母のだと考えておられます。教会共同体の中で、信仰を生きるとは具体的に何を大切にすることでしょうか?

③ 教会の実際の姿は理想的な「兄弟姉妹」の姿を表しているわけはありませんか?

人間の集団という限界を背負っているからです。教会はこのことを「旅する神の民」と表現してきました。わたし達の先輩たち(聖人たちが殉教者たちの証)はどのように信仰を証してきたのでしょうか? 次の世代にどのように伝えていけばいいのでしょうか? (隣同士での分ち合いと全体での発表)

2 リーダーによるまとめ。内容についての質問やコメントが出され長くなることもあります。(10~15分)

3 祈り(自分を神の前に置き、振り返る。10~15分。サダナの祈りによる)

司教執務室 便り

自分のために祈る

今日の一日、何がありましたか?
 わたしはキリスト者として周りの一人ひとりを兄弟姉妹として見ていたでしょうか?

それとも人間関係が希薄のために、あまりかわらうとしなかったでしょうか?
 イエスの心に近づくために、どのような心を捨てなければならぬのでしょうか?

わたしはイエスから兄弟と呼ばれる歩みをしているのでしょうか?
 わたしは一人ひとりを父の御心を行うものとして下さい。

「召命を願う祈り」がある。「司祭のための祈り」がある。信徒が召命を祈り、信徒が司祭たちのために祈るという意味合いが強い。もちろん司祭が祈ってもいいわけだが...

しかし、先日受け取った文書には「司祭が毎日唱える祈り」をはじめ、司祭が自分のためにする四つの祈りが同封されていた。四つの祈りに共通しているのは、司祭が身を低くして自分の弱さを認め、罪に負けることな

く、奉仕職にふさわしいものとしてくださいという嘆願の祈りとなっていたことだ。
 考えてみると、これまで、自分のために祈らなかったわけではないが、司祭として毎日唱える祈りを知らなかったし、「ふ

さわしいものにしてください」と漠然とは祈っても、「貞潔を守る恵を願う祈り」のような具体的な祈り方はやったことがないように思う。

確かに、司祭が自分自身の司祭職を全うするために具体的に祈ることは大切ではないかと思つた。具体的であるということ

は、自分自身の具体的な課題に直面することになるからだ。
 具体的といえば、特に司祭にとって、「誰それさんの病気の回復を祈る」ことだけでは足りない。かといって、もっといい司祭になるために、どんなことを思い描いて祈っているかと聞かれると即答に困るのだが...



+KABAYAN SEKSIYON+ "Ang Bagong Tipan"

Napag-alaman natin na ang Banal na Kasulatan ay nahahati sa dalawang libro- ang Luma at Bagong Tipan. Noong nakaraan buwan ang tinalakay ko ay ang tungkol sa Lumang Tipan at ngayon ang tatalakayin natin ay ang Bagong Tipan. "Ang Salita ng Diyos," na siyang kapangyarihan ng Diyos para sa kaligtasan ng bawat isa na mayroon pananampalataya, ay ipinagpadala at ipinagpahayag ang kapangyarihan sa isang kahanga-hangang daan sa pagsulat ng Bagong Tipan," na ibinigay ang pinakahuling katotohanan ng Kapahayagan ng Diyos. Ang sentro ng kanilang adhikain ay si Kristo Jesus, ang Diyos na naging Anak o naging tao: ang kanyang mga gawa, mga turo, Pagpakasakit at ang pagbigay kaluwalhatian, at ang kanyang unang Simbahan sa ilalim ng paggabay ng Espiritu Santo. Ang mga Ebanghelyo ay ang pinaka-puso ng lahat ng Kasulatan, "dahil sila ang ating pinaka prinsipal na pinangalingan para sa buhay at mga turo ng Salita na naging tao, ang ating Tagapagligtas." Makikilala natin ang tatlong hakbang sa pagbuo ng mga Ebanghelyo: 1. Ang buhay at mga turo ni Jesus. Matatag na pinanghawakan ng Simbahan na ang apat na Ebanghelyo, "na ang kasaysayan ay kanyang pinanindigan, ibinigay ay ng matapat kung ano ang kay Jesus, ang Anak ng Diyos, habang siya'y nakisalulang mamuhay sa tao, talagang ginawa at nagturo para sa kanilang kaligtasan na walang hangang, hanggang sa araw ng kanyang pag-akyat." 2. Ang Tradisyong pagsalin (oral). "Pakatapos ng pag-akyat ng Panginoon, ang mga alagad ay ipinagkatiwala sa kanilang mga tagapanginig kung ano ang sinabi at ginawa ng Panginoon, subalit ng may buong pagkaunawa na sila ay tinuruan ng mga kaluwalhatian pangyayari ni Kristo at sa liwanag ng Espiritu ng katotohanan, na ngayon ay nagagalak." 3. Ang sinulat na Ebanghelyo "ang sagradong mayakda na sa pagsusulat ng apat na Ebanghelyo, na nagpili ng ilan sa maraming elemento na kung saan ay ibinigay na, alin man sa dalawa ang pagsalin (oral) o dati nang naisulat; ang iba ay pinag-isa o ipinaliwanag sa mata ng kalagayan ng mga simbahan, habang sinusuportahan ng porma ng pagpapahayag, subalit palaging mayroon pang-aakit na ang sinasabi nila sa atin ay buong katapatan na katotohanan tungkol kay Jesus."

市来鶴丸城跡にザビエル像

市民グループの要請に聖師また一働き

四月二十七日(日)日置市市来町の市来鶴丸城跡で聖フランシスコ・ザビエル像の除幕式があった。像を建立したのは鹿兒島大学元学長・石神兼文さんを中心とする「市来鶴丸城を二十一世紀に活かす会」の聖フランシスコ・ザビエル像建立委員会。像の制作には池川直教授(鹿兒島大



市来鶴丸城のザビエル像

学)が当たった。ザビエル渡来当時の市来鶴丸城を治めていたのは新納伊勢守康久、その家老がザビエルと知り合い受洗し、ミゲルの洗礼名をも

らった。ミゲルの案内で城を訪れたザビエルはミゲルの家族や領主の夫人と子女の数人に洗礼を授けたと記録されている。また城内に

七十人が出席し 今年の典礼研修会始まる

昨年と同じ形式で四月から七月まで、月一回実施する典礼研修会の第一回は四月二十七日(日)午後一時半からザビエル教会ホールで開かれた。参加者は約七十人。

第一回目の講師は中野裕明神父で、テーマは「典礼の精神」。典礼とは神と人に対する公の奉仕であることをエジプト記「わたしの民を解

した建立委員会は、銅像建立の趣意書を町内に配布したほか城周辺の史跡巡りを開催するなどし、地域住民の理解を得てきた。完成したザビエル像は二メートルで、ブロンズ像としては日本一の高さになるとい

にし、入手した一六〇〇年代の司祭のデッサンをもとにイメージを膨らませて作り上げた。除幕式にはセゴビア・スペイン公使や地元出身の政治家たちも参列したほか、郡山司教も加わり、ザビエル像の建立を心から喜んだ。

四條淳也さん ブログを開設

教区の終身助祭候補者で、喜界島教会を守っている四條淳也さんがブログ「じゅんやの喜界島便り」を開設した。副題に「カトリック信仰による癒しと救いを求める見聞録」と記されているこのブログには島の美しい写真も掲載されているほか、書き込みもできるようなっている。

島で働く四條さんと連絡が取れるほか、遠く離れた小さな共同体の様子がかがいが知れて楽しい。
http://gabriel-shi-junya.blogzine.jp/orablog/

短信

古仁屋で堅信式

郡山司教を迎えての堅信式が五月四日(日)古仁屋教会であり、二人が受堅した。また同じミサで聖体奉仕者二人も誕生した。

パストラル研修会

五月二日(金)から六日(火)まで臨床パストラルケア教育研修センター南九州ブロック主催の研修会

ザビエル教会でも堅信

五月十一日(日)ザビエル教会で堅信式があり、七人がその恵みに浴した。

マリア山荘でME

五月十六日(金)から二泊三日の予定でマリア山荘でMEの集いがあり、五組の夫婦が参加し、夫婦の絆について分かち合いをした。

レジオ・マリエ鹿が アチエス

レジオ・マリエ鹿兒島コミチュム(川水恵子会長)は、五月九日(金)ザビエル教会でアチエスを開いた。この日のアチエスには

郡山司教も参加し、鹿兒島市内外から会員及び賛助会員四十人が集ってマリアへの奉献式と感謝のミサで会員としての今年度の誓いを新たにしました。尚、この日のミサで集まった献金はミヤンマーの災害救援のために送られた。

6月

今月の暦

1日(日) 年間第九主日

▼出水教会献堂五十周年記念式典・出水教会・14時

3日(火) ホルへ神父叙階記念日(二〇〇三年)

▼レジオマリエ黙想会「教会つてなめに」(講師 山元 眞神父・福岡教区・行橋教会・ザビエル教会・10時)

8日(日) 年間第十主日

▼教区評議会準備委員会・教区本部・14時

15日(日) 年間第十一主日

▼北薩地区宣教奉仕者養成講座・川内教会・14時

17日(火) 奄美司教会

19日(木) エルネスト・カスグレン神父命日(フランシスコ会・一九七九年)

▼玉里教会献堂二十五周年記念ミサ

22日(日) 年間第十二主日

▼典礼研修会「使徒信条の意味」(講師 竹山 昭神父)・ザビエル教会・13時30分

23日(月) 教区司祭会・教区本部・16時

▼レデンプトール会例会

24日(火) 洗礼者聖ヨハネの誕生

▼定例司祭集会・教区本部・10時

25日(水) 山口重義神父叙階記念日(一九七二年)

▼小川靖忠神父霊名

29日(日) 聖ペトロ 聖パウロ使徒

▼聖ペトロ使徒座への献金

聖皇は毎年、世界各地を訪ねます。そして、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。キリストの代理者、教会の最高牧者である聖皇は、祈りと具体的な援助を通して全世界の人々に心を通わせ、わたしたちも世界中の苦しんでいる人々のために祈りと献金をささげます。聖皇のこうした活動のために充てられる聖ペトロ使徒座への献金は、八世紀ごろイギリスで始まった「大人も子どももいちばん小さなお金である一ペニーを毎年聖皇に献金する運動」がもとになって世界中に広まったものです。

▼医療者の集い・ザビエル教会・13時

▼ムイベルガ神父叙階記念日(一九六九年)

▼糸永真一名誉司教、小隈憲士神父、アン神父 霊名(パウロ)

▼瀧 憲志神父、美島春雄神父、竹山 昭神父、永山幸弘神父霊名(ペトロ)

門田 明氏の 鹿兒島とキリスト教

新聞記事などお読みになってご存知の方も多いと思うが、元鹿兒島大学学長を務められた石神兼文先生のご尽力で四月二十七日、東市来の鶴丸城跡に鹿大池川直先生がお作りになったザビエル像が建立され、除幕の記念式が行われた。三百人余の人々が出席し、各界を代表する方々が次々賛辞を述べられた。

フランシスコ・ザビエルは一五四九年八月十五日に鹿兒島に上陸しキリスト教を伝えたが、九月にこの東市来を訪れ、十五人に洗礼を授けたと

いわれている。河野純徳著『聖フランシスコ・ザビエル全生涯』によると「鹿兒島で天竺渡来の僧が説教している」と伝え聞いて、市来城の家老も鹿兒島へザビエルの説教を聴聞しに出かけた。この家老のとりなしで、

ザビエルはアンジロウを伴い、鹿兒島から六レグア(三十四キロ)の市来城を訪れた。ザビエルは城主新納康久より歓待され、家老の家に泊まつて、城主の奥方や子供たち、家老とその家族、城内の召使など十五人に洗礼を授けた。家老にはミゲルの霊名を与えた。ザビエルは此処に数日間泊まり鹿兒島へ帰った。その後彼は鹿兒島をたち、平戸を経て京に上っている。京都から全国にむけ宣教するつもりであったが、思うに任

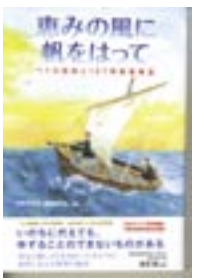
せず、一五五一年十一月、日本を離れた。さて、これまでザビエル渡来からラゲ神父のザビエル聖堂建設まで、鹿兒島にキリストを運んできた宣教師たちについて、池田敏雄『人物中心の日本のカトリック史』を参考に二十回余にわたり勉強してきたが、一応今回をもって終了したいと思っている。ただこの勉強を通じて鹿兒島カトリック教会史に対する興味が大きく膨らみ、本格的に調べてゆきたいと思っている。もしお仲間ができれば、研究会、読書会などであればとも思っている。興味ある方はお声をかけていただければ幸いです。(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)

本棚

恵みの風に帆をはって

ペトロ岐部と一八七殉教者物語

「この本はペトロ岐部と一八七殉教者をとおして吹いてくる聖霊の風を感じるために書かれました。この



載せられているのはシンポジウム「ザビエルの拓いた道」(第一章)のほか、各章ごとに「要塞都市マラッカにおけるザビエル」、「ザビエルをめぐる素朴な疑問」、「それぞれのザビエル」となっている。購入希望の方は最寄りの書店に注文するか、直接、南方新社に電話(099-248-1395)かFAX(248-1545)、Eメール(Info@tanpo.com)で!

この春、『まるちれす』編集委員会が、ペトロ岐部と一八七殉教者についての学習書を見事にまとめ上げた。「恵みの風に帆をはって」(ドン・ボスコ社 千八百円・税別)。殉教に向かった人たちの悲しくなるほどの神へのまっすぐな心を美しい物語にまとめてあるだけでなく、「殉教者とはどんな人

「この春、『まるちれす』編集委員会が、ペトロ岐部と一八七殉教者についての学習書を見事にまとめ上げた。「恵みの風に帆をはって」(ドン・ボスコ社 千八百円・税別)。殉教に向かった人たちの悲しくなるほどの神へのまっすぐな心を美しい物語にまとめてあるだけでなく、「殉教者とはどんな人

「この春、『まるちれす』編集委員会が、ペトロ岐部と一八七殉教者についての学習書を見事にまとめ上げた。「恵みの風に帆をはって」(ドン・ボスコ社 千八百円・税別)。殉教に向かった人たちの悲しくなるほどの神へのまっすぐな心を美しい物語にまとめてあるだけでなく、「殉教者とはどんな人

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

市来房枝選

鹿児島 上野千穂子

若葉映ゆザビエル像の除幕式
初孫の倅を祈るや鯉のぼり
(評) 二句共に初夏の情景が旨く描写されている。「初孫」にしみじみとした喜びが伝わってくる。

鹿児島 徳永ノブ子

ロザリオを練りて集へる聖母月
(評) 「ロザリオ」と「聖母月」が旨く引き合わされている。

出水 遠竹 睦郎

畜魂碑ふと足とめる初夏の道
出水 沖 弘子

旅に会ふ人のやさしき花牡丹
純心学園 山頭 信子
復活祭飛行機雲の棚引けり

純心学園 川上 和

曙の火口に浮かぶきのこ雲

鹿児島 春山マリ子

白藤のこぼれ咲きたる棚に寄る

鹿児島 龍門司真人

聖母頭つ一人静の峰の花

短歌 (思川短歌会作品)

大 口 森 博伸

プライドをかざすところは慎むと野

辺のあざみの花を見つめる
(評) 有るがままの心の描写に感動。下の句の「野辺のあざみの花を見つめる」に趣がある。

鹿児島 前田 儀子

ピエタ像磨く窓辺に咲き揃ふミルク色のバラを春疾風打つ
(評) 「丹精されたバラに容赦なく吹きつける風の様が結句に旨く表現された。「ミルク色のバラ」が少

し字余りになるので「真白きバラ」にしてみた。
純心学園 川上 和
思い出のオリベト山の春の風主の昇
天の跡を辿りて
(評) 「思い出」で旅行詠ということ
が分かる。抒情感漂う作品

出水 遠竹 睦郎

遠田より蛙の声の聞こへ来て梅雨の
闇夜のいと賑はしき
鹿児島 春山マリ子

神さまに日々の祈りを捧げつつ傷つ
くも生く命尊ぶ
鹿児島 田平新太郎

思川に寄せ合ふ友の歌清し聖堂に届
かむ祈りのかたち
三食を伴ふ日々の吾が祈り五十余年
の愛しみの歌
選者詠

母在さば告げたきことの二つあり運転開
始と曲水の宴と

PHILIPPINE FIESTA DAY IN KAGOSHIMA

フィリピンフィエスタデー in 鹿児島



110th YEARS PHILIPPINE INDEPENDENCE DAY 「フィリピン独立記念日」 Everybody is Invited 「どなたでも参加することができます」

When: JUNE 14, 2008 (SAT) 8:30am ~ (日時: 6月14日(土) 午前8時30分~) Place: St. Francis Xavier Church (場所: カトリック・ザビエル教会) お問い合わせ: ベルナルディーノ神父 090-2085-1094 平メリ 080-1791-8859 / 099-253-1184

記念誌の資料収集にご協力を 献堂百年を迎える瀬留教会

今年の十二月 献堂百周年を記念する瀬留教会(末吉卓也神父)では、この節目を新たな第一歩とするため、聖体行列や記念ミサ、お告げの鐘の設置など記念事業を計画している。その中の一つに「記念誌」の発行があり、現在、編集作業に取り掛かっている。その記念誌をもっと充実したものにしたと考えている編集スタッフは、同教会にまつわる資料の提供・協力を呼びかけることにした。戦前の教会や宣教師の写真、新聞記事、記念の品々などを所持している方、貸出や紹介ができる方は、ぜひ瀬留教会まで、二報を(☎) ☎09977-6211(045)！ 締切は六月十五日(日)

行こう！「殉教者縁の地」へ パッションの会が巡礼を計画

パッションの会(障害者自立の会)では、六月二十八日(土)と二十九日(日)の二日間、列福される八代、熊本、大分、そして薩摩の殉教者レオ七右衛門の出身地を訪ねる巡礼を企画している。旅程では、

二十八日早朝ザビエル教会を出発し、八代、熊本、湯布院、安心院(宿泊)、大分、宮崎、都城と巡ることになっている。募集人員は二十五人で、参加費用は二万五千元。旅には頭島光神父(レデンプートル会)が同行する。申込及び問合せは、紫原教会の徳永善博さんまで(☎) ☎099-20617211 / 携帯090-13669104(三三)。

カトリック新聞 1部本体価格150円(税・送料別) 購読料金(前納、税・送料込) 半年4740円・1年9480円 見本紙贈呈いたします

夏期神学(臨床パストラルケア養成)講座のお知らせ 福岡サン・スルピス大神学院 2008年度夏期講座 開催日時: 7月24日(木) 午前9時~8月2日(土) 午後2時 開催場所: 福岡サン・スルピス大神学院 申込み先: 〒158-0095 世田谷区瀬田1-28-2 臨床パストラルケア教育研修センター東京事務所 ☎03-3700-3425 FAX03-3700-3427